

元EDF奨学生のご紹介

「決してこの奨学金を無駄にしてはならないとより一層勉強をする様になりました」



中学生時代

パンロップ ティマーさん

1995年—1997年：EDFの奨学生

学歴：ナコンラチャシマーラッチャパット大学 人文社会学部タイ語学科卒業(学士)

職歴：元アナウンサー(タイの5チャンネル)現在は、音楽教師

私の家族は、母、姉、私の三人です。父は私が6歳の時に亡くなりました。現在、母は再婚し、姉も結婚してそれぞれの家庭を持っています。私たち家族は、今はそれぞれ別々の県で暮らししており私だけがバンコクに住んでいます。

子ども時代は何回も引っ越しをしました。父は小さい時に亡くなったので母が出稼ぎに行かなくてはならず、祖父母の家に



過去アナウンサーとして働いたパンロップ

何年も住んだこともありましたが。家は借家でした。母は大変苦労しながら細腕一つで姉と私を養育しなければなりません。家計を支え、私たちを学校へ行かせるために母はありとあらゆる職に就きました。祖父母たちも何の社会的地位も持ち合わせておらず食べていくことさえ大変な状況で私たち家族はいつも経済的な問題を抱えていました。

学生の頃はバナナチップス等のお菓子を自分で作り、家の裏庭のマンゴーを学校で友だちに売り副収入を得ていました。他にも賞金がもらえる様々な大会に出場し、賞を頂いたりもしました。そして、ブリラム県のノンキーピタヤーコム学校中等部在学中に先生の紹介で貧乏な中でも勉強に一生懸命頑張る子に与えられるEDF奨学金を受けられることになりました。私は、少しでも家族の経済的な負担を減らすことができると思うととてもうれしかったです。頂いた奨学金は、教科書、学用品、学校での昼食代に使わせて頂きました。奨学金を頂いたことで私は、大きな励みを感じ、決してこの奨学金を無駄にしてはならないとより一層勉強をする様になりました。

中学卒業後、私は、大学にも行きたかったので同じ学校の高等部理数科系に進学しました。高校の学費は制服や体操着、



現在音楽教師として働いているパンロップ

教科書、キャンプ等の行事の費用等、中学時代よりもかなり上がりました。私は、タイ語、英語、科学、数学、バドミントン、歌等の様々な大会や競技会の学校代表に選ばれて在学中、百以上の表彰状と盾を頂きました。

その後、私は、ナコンラチャシマーラッチャパット大学、人文社会学部、タイ語学科の学士過程を首席で卒業することができました。卒業後は、タイの5チャンネルやケーブルテレビのアナウンサーとして働きました。その他に高校のタイ語家庭教師、司会、ビデオレクチャーの声の担当等の仕事もしました。現在は、音楽教師を本業とし、副業として数か所の高等教育機関で水彩画も教えています。

私は、慈悲深く、心の優しい奨学金の支援者の方に心より感謝しています。おかげ様で私は、人生で一番困難だった時期を乗り越え、こうして今、仕事にも恵まれ、社会人に成長することができました。これからも社会で立派に貢献し、自分が子どもの頃に受けた困難を今同じ様に受けている子どもたちと自分が得た素晴らしい物を分かち合い続けることをお約束します。

最後に現在のEDFの奨学生の皆さんに伝えたいことがあります。頂いた奨学金を決して無駄にしない様に自分の両親、恩師の皆さんに対しても良い子供良い生徒となれるようしっかりと勉強して社会や国に自分が役立つ様に頑張ってください。

ご支援・ご協力をいただいた皆様へ

平素はEDFに対し絶大なるご協力を賜り誠に有難うございます。

2022年は、「ダルニー奨学金」を運営するEDF 財団が奨学金支援活動を実施して以来、35周年を迎えます。タイの恵まれない子どもたちが平等に教育機会を得られることを可能にするという目的を果たすため推進して来ましたこの35年間の活動の結果、406,560人の奨学生が、「教育の機会」を受けてきました。

もちろんのこと、奨学金提供者の皆様はこれらの子どもたちにとって、彼らの未来を大きく変える最も重要な人物であると言っても過言ではありません。当財団の奨学金プログラムを通じて皆様のご支援により学生たちが戴くことが出来た「教育の機会」は、単なるお金ではありません。彼らにとって明るい未来を切り開く「機会」であり、「励まし」であり、そして何より重要な「感謝への気付き」でもあります。彼らの人生を未来にわたって大きく変える転機となったからです。その支援のご提供がなかったら、子どもたちの多くは、将来教育を受けることができないまま大人になり、知識や情報不足で社会から取り残されてしまう可能性が高かったといえるでしょう。

しかし、教育と人間開発への投資は 僅かな期間で結果が見えるものではないと思います。それだけに、持続可能な変化を生み出すには、皆様の継続的なサポートが不可欠です。

2023年度の奨学金募集を開始しました。EDF が、タイにまだ大勢いる恵まれない子どもたちに皆様が優しい心でお届けになる「教育の機会」をこれまで通り架け橋としてこの重要で光栄な役割を果し続けさせて戴けることを心より願っております。

皆様の暖かいお心とご支援に心から感謝申し上げます。



EDF 財団 代表取締役

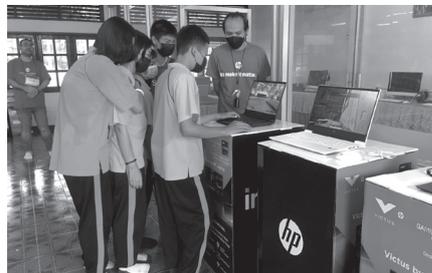
サンペット・ニンラット

ニュース・活動報告



学校の食堂設備の改善サポートキャンペーンへも20万パーツの支援金にも充当されます。どうもありがとうございました。

長年タイで会社勤務、ボランティア活動を続けて来られた方(匿名ご希望)が健康上の問題で日本帰国されることになりましたが、帰国時にタイでの預金から50万パーツのご寄付を戴きました。これは、2023年度の50人への3年分の奨学金の他に、特別な「タイの地方の小規模



がパソコンから情報を自分で検索したりしてITスキルを学べるリソースサーチセンターという校内の施設の開発にも使用されます。また当日には、HP社の従業員の一部がボランティアとして参加し、高校生向けに将来のキャリアに就くことを目指すために、自分なりの自己開発スキルの考え方など特別なトレーニングも開催されました。

HP Inc (Thailand) Ltd と HP Foundation は、EDF と協力して、Learning on the GO! というプログラムの下で、ナコンパトム県バンルアンウィッタヤー学校へパソコンと寄付金の寄贈式が開催されました。寄付金